

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 遠藤家之進正和
新潟県山岳協会
新潟市南区鷺ノ木新田1049
TEL 025-362-5004

事務局 諏訪恵一
長岡市高畑町610-10
TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集
委員会代表 浅野巨寛
TEL 0258-52-3998



紅葉と見間違えうナラ枯れ

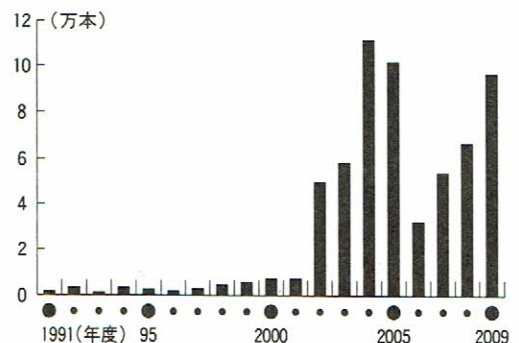
深刻 ナラ枯れ 新潟県は最多!

9月11～12日に全国自然保護総会が高柳・じよんのび村で盛会に行われた。また名古屋では10月18～29日の日程で生物多様性会議が開催される。世界中で環境破壊の勢いは止

まらず、途上国と先進国との主張にも隔たりがあるようだ。だが現実には環境破壊しながら時間だけは過ぎてゆく。自然の治癒能力内の出来事で収まっているのだろうか。

道され始めた「ナラ枯れ」の問題がかなり深刻だ。林野庁の調査によれば、2009年度には全国23府県での被害が確認されているという。被害面積は前年度比74%も多くなり、約2511ヘクタールにも上るそうだ。内容では新潟県は482ヘクタールで、愛知県が408ヘクタール、山形県の342ヘクタールを上回って全国最多とショックなデータが出て

県内ナラ枯れの推移



恐怖が走る。様々な形態の中で世界の森林もピンチだと聞く。そんななかで国内でも山へ入る人達は何年か前から気がついてきたが、最近ではテレビなどでも報道され始めた「ナラ枯れ」の問題がかなり深刻だ。林野庁の調査によれば、2009年度には全国23府県での被害が確認されているという。被害面積は前年度比74%も多くなり、約2511ヘクタールにも上るそうだ。内容では新潟県は482ヘクタールで、愛知県が408ヘクタール、山形県の342ヘクタールを上回って全国最多とショックなデータが出て

いる。県の報告による市町村別では佐渡市が236ヘクタール、糸魚川市の119ヘクタール、南魚沼市が27ヘクタールで、今夏は高温少雨だった影響で大きな被害出ている恐れがあるという。

2000～09年度の累計上位では本県3461ヘクタールで山形県1517ヘクタール、石川県1249ヘクタール、福島県1192ヘクタールとなっていて被害面積の大きさがうかがえる。また県がナラ枯れ被害の調査をはじめた1991年以降、09年までの累計で被害本数は61万9千本に上る。市町村別では阿賀町が15万5千本と最多で佐渡市の12万4千本、糸魚川市の5万6千本となっている。01年度までの被害本数は9千本未満にとどまっていたが、02年度に爆発的に増加、04、05年度をピークに06年度はいったん減少したものの再び拡大傾向が続いている。本県での被害が甚大なのは虫の被害を受けやすいミズナラの成木・老木が多く分布しているためようだ。ナラ枯れは「カシノナガキイムシ」が夏期に繁殖のためミズナラやコナラの幹に穴を開けて侵入して病原菌を持ちこむこと

で発生するという。被害にあうと木が白骨化するなど美観もそこなう。虫は一定地域に集中的に被害を与えて移動するため、被害の多い地域は年々変動するらしい。「森林公園」などでは予防・駆除に取り組んでいるが、「人が入らない山は道もなく難しい、また急速に広がって手が付けられない状態」というのが現状のようだ。ただナラは枯れても3〜4年で自然に新しい木が生ずる、というのが救いなのだが。調査を継続しながら注視することしか出来ないのだろうか。

【生物多様性会議】

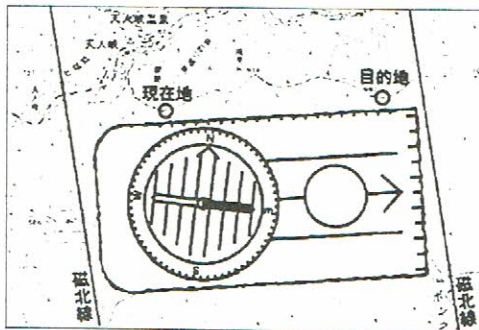
10月に始まるが人類のためだけでない会議を期待しているのだが、状況は極めて深刻のようだ。各国は生物多様性条約のもとで「2010年までに多様性の損失の速度を顕著に減少させる」との目標を掲げていたが条約事務局は5月、世界的に目標は達成できなかったとの報告書を公表した。そんな中でもこのひと月だけの新聞の見出しを見ても「サンゴ礁 数十年で20%減少」「世界の森林 年間520万ヘクタール消失」「野生

脊椎動物 70年以降30%減少」など不安をおぼえる見出しが目をつく。なかなか損失が止まらない背景には、土地の開墾や農地への転換、資源の過剰な採取や乱獲、外来種の侵入、地球温暖化などの影響があるのだろう。魚類の生育の場となるサンゴ礁は過去数十年で激減し、漁業資源の80%以上が乱獲されている。アマゾンやインドネシアなど世界の森林の消失は植林した分を差し引いても年間520万ヘクタールに上る。また野生の脊椎動物の生息数は1970年以降約30%減ったとの事だ。現在の種の絶滅は、化石から推定した過去のペースの約千倍に達し、国際自然保護連合は評価した約4万8千種のうち36%は絶滅の恐れがあるという。自然には一定の回復力があるというが、限界点を超えると回復不可能になる恐れがあり、今後10年〜20年の短期な取り組みが、人類の文明が約1万年自然に依存してきた安定的な環境が将来も続くかどうかを左右するようだ。なんとか各国の危機意識を共有したいものだ。

会報・編集 浅野

平成22年度
登山講習会

- * 遭難事故例と対応
- * 地形図の読み方・コンパスの使い方
- 10月24日(日)
- 8時30分〜15時30分
- 三条市柳沢1572
- グリーンスポーツセンター
- * 参加費 1000円
- * 詳細は団体送付資料確認事
- 新潟県山岳協会遭難対策委員会



平成22年度 親睦登山
錦秋の『信越トレイル』へ



ブナの巨木 森太郎

- 10月30日(土)〜10月31日(日)
- ・ 宿泊「山荘 京ヶ岳」 上越市清里区青柳3438
- ・ 30日 講演(惣塚泰次氏)
- ・ 31日 関田峠・黒倉山・巨木の谷・関田峠
- ・ 参加費 8000円
- ☆詳細は団体送付の案内状で確認のこと。
- 新潟県山岳協会 総務委員会



JTB関東 法人営業新潟支店

新潟市中央区古町通6-976

TEL:025-224-2201 FAX:025-229-5775

http://www.jtb.co.jp/shop/houjinniigata/

※“旅”の最新情報、ご覧になれます。

E-mail:h_mitani388@jtb.jp

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

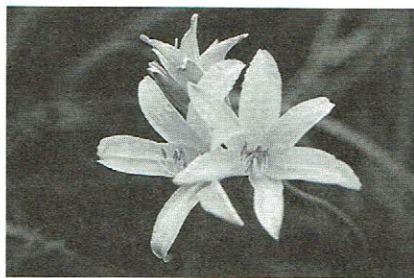
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

http://www.parrmark.co.jp

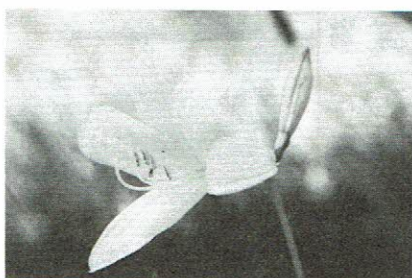
越後の山に見られる 変種植物

むささび会 加藤 明文

◆ キスゲ属 *Hemerocallis*
⑤ トビシマカンゾウ



トビシマカンゾウ
佐渡 6月10日



母種 エゾゼンテイカ
北海道 浮島湿原 7月20日

学名 *exaltata* (非常に高い～飛島と佐渡)。その母種エゾゼンテイカ (*middendorffii*～ミットENDORF～北海道) またその母種ニッコウキスゲ (*esculenta*～食物～本州中北部) さらにまた母種が存在するが不明。佐渡にニッコウキスゲが産すれば婆ちゃんと同じ居る事になる。それにしても本州から北海道そして佐渡へと不思議なものだ。属名ヘメロカリスは美しい一日花の意。

執筆のお礼

登山の折、何気なく見ている植物には変種もあるという。では母種は何なのだろう。加藤明文さんは、探究心から独学で調べ、平成18年3月から「越後の山に見られる変種植物」として50回にわたり紹介していただき、9月号で終章とのこと。

氏からは、以前にもカムチャッカ半島、トルバチョク山遠征で知ったカムチャッカの高山植物も4年間にわたり紹介していただいた。

ただ単に名前を覚えるだけでなく、違った見方から植物を知ることというのに興味を覚えることができたかなと思います。

硬い連絡事項、報告文の協会ニュースのなかで、ちょっと読んでみるかと注目させ、ページを飾って頂いたことには感謝に堪えません。長きにわたる執筆、このたびの終章にあたりお礼を申し上げます。ありがとうございます。

新潟県山岳協会

会長 遠藤家之進正和

好評発売中

『**杵海新道ものがたり**』

その自然と人々

小野 健 著



小野 健さんの

『**杵海新道ものがたり**』 その自然と人々

「アルプスと海をつなぐ杵海新道」開拓と経緯。50年にわたる杵海への想いは熱い。0～3,000mに憧れ、集った人達との交流の輪は大きい。ひとつの山域に習熟することはあらゆる山岳にも通用し、困難に挑んだ自然からは、また先の夢と棲むもの達へのやさしさを育んだ。それらを世に問う小野 健の世界がひろがっている。

・考古堂刊 発売中

A5版 定価 1,800円+税

新潟県山岳協会監修



好評発売中 『新潟100名山』

平成17年に『新 にいがた花の山旅』、19年『新潟日帰りファミリー登山』が発刊後も好評を得ているが、ひきつづき待望の『新潟100名山』が刊行の運びとなった。新潟県山岳協会の会員達が地元の利を生かして撮り、執筆した見ごたえのある『新潟100名山』となっている。

A5版 2,600円+税 411頁 発売中

☆著者購読割引あり

◎「新山協ニュース」

を直接お届けします。

ご希望の方は、郵便番号、住所、氏名、電話番号、所属団体名を明記の上、50円切手24枚(1年分)を添えて左記までお申し込み下さい。

【申し込み先】

〒940-0022

長岡市金町2-2-17

浅野巨寛方

新潟県山岳協会

会報編集委員会

編集こうき

▲生をうけて初めて経験したような猛暑だった。おかげで夏野菜などはずいぶんと高騰したらしい。だが私の周りでは畑仕事が趣味の友人が何人かいて、野菜には不自由しなかった。

キュウリ、ナス、ピーマンなどと一緒に言い合わせたようにユウガオを置いていつてくれた。おすそ分けをしても何本かの在庫となる。

何年かはスーパーのうなぎ売り場は素通りする我が家で暑気払いに鰹汁にはずいぶ

んとお世話になったからそのかぎりでは助かった。ユウガオは鰹汁、あんかけ、台湾風の冬瓜スープもどきなどにも多様したがそれでも使い切れない。そこで輪切りにしたユウガオは皮をむき、中抜きして種を除いたものを5mm厚の短冊切りにして、熱湯で1分ほど半生に茹でる。水分をよく切って丼に移し、ダシ醤油を回しがけ、カツオ節をまぶして30分ほど味を馴染ませる。ユウガオの独特の歯触りがたまらない。ユウガオは茹ですぎないことだ。

生食ではナス、ピーマン、ミョウガ、キュウリ、オオバ、ゴーヤなどを細切り、薄切りにしてショウガをすりこんで、ダシ醤油、をかけたまわし好みでゴマ油、ラー油で風味付けして30分位味を馴染ませる。なかなか、おつな味が食が進む。 会報・編集 浅野



登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL.(025)241-5134 営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

富士及近大気象観測飛行業務555号 JATA承認済 (注) 日本旅行業協会会員

本社: 新潟県長岡市金町1丁目3番9号

<http://www.uks.co.jp>

☐長岡営業所 〒940-0084 長岡市金町1丁目3番9号 ☎(0258)33-7123
一般旅行業取扱主任者 森 清樹

☐新潟営業所 〒950-0910 新潟市中央3丁目2番11号 ☎(025)246-2266
一般旅行業取扱主任者 中島 豊